

三島木経済通信

4月28日

発行所
株式会社FPリサーチパートナーズ
〒213-0001
川崎市高津区溝口3-7-21
044-814-3553
協賛
溝の口夜大学
電子版アドレス
fp-research.jp/keizai/0428

「住まい」
「暮らし」
「新発想」

FPリサーチパートナーズ

溝の口夜大学
mizo-univ.org

企業の今期想定為替レートに注目

79円〜81円程度が適正レートか？

主要企業の決算発表が近づいている。輸出大国日本では利益を大きく左右するのは企業の「想定為替レート」だ。家庭に例えるなら、お米が1,000円で買えるのか？2,000円で買えるのか？といった感じだろうか。昨年2011年度の主要企業の想定為替レートは左図を見て頂きたいが概ね80円〜85円という水準であった。結果としては大きな円高が進み一時75円台など企業の利益を圧迫した。となると気になるのは各企業の今年の想定だ。日銀が発表している2012年の想定為替は78円台と相当な円高を見込んでいる。各企業がこの円高水準で今年の計画を立ててくるのが注目される。現在は1ドル81円台と過度な円高も一服している。ドル円相場は日本の状態だけで決まるものではなく、海外の動向が重要だ。75円台に到達した時には、日本が強く円が買われていたわけではなく、海外が不安な状態で他国の通貨が売られ結果的にスイスフランや日本円に資金が集中するという現象が起きていた。

楽観的企業には要注意

2011年の為替レート

	対ドル
パナソニック	83円
京セラ	81円
リコー	85円
ニコン	80円
コマツ	82円
武田薬品	85円

2012年？

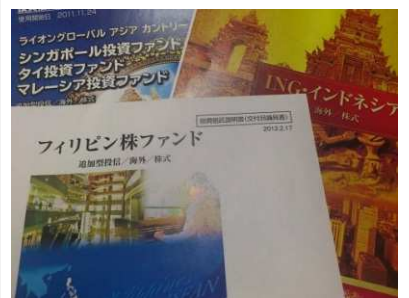
日銀調査によると

77円
〜
80円

鍵はアメリカ経済指標

今後のドル円相場の流れを決めてくるのはアメリカの経済指標であろう。今一番懸念されているのはQE3だ。もし実行されればドル安の流れが強くなり、結果として円高になってしまう。ただその可能性は最近では少し和らいでいる。円相場をコントロールする日銀もこのまま円高が続くことで、日本企業が海外に移転してしまうリスクも理解しており80円台前半で維持されることが想定される。

東南アジア(ASEAN)投信が急増



国ごとや東南アジアエリアなど投資方法は多彩。

いる。大きな投資先分類で米国を中心とした先進国、中国、インドなどを中心とした新興国などに分類されるが、今までは東南アジアに投資できるファンドが少なかった為需要は高い。また、先進国新興国、東南アジアに投資することで、世界的に分散投資が行えるようになる。三島木自身もETFにてインドネシア、マレーシアなどの国別の投資に東南アジアを組み入れている。日本から近く、日本の工場が移転できる東南アジアは日本が衰退しても、発展する可能性を十分に秘めている。

投資信託の数は多くあるが、昨今は東南アジアの投資信託が増加している。具体的にはASEAN諸国の国へ投資するものに人気がある。日本経済が低迷する中、中国・インドの次と注目されている。

関東圏の地震保険料値上げか

地震保険料の値上げが懸念される。通常の火災保険に付随して加入が出来る地震保険だが、その保険料は国が決めている。要するに保険会社によって地震保険料の差はない。5年に1度料金改定がされるが昨今の地震調査の結果首都圏直下型地震が懸念されることから、保険料の値上げが行われる可能性がある。

料金改定は5年に1度で、途中の変更は基本的にないが、次回改定時には関東圏の保険料が上昇してもおかしくはない。また地震保険で保障される保障にも注意されたい。全損以外の半損であれば半分しか保障されず、軽傷の一部損においては保険金の5%しか保障されないことは理解しておいて頂きたい。

保障内容を注意

社会保険料が軒並み値上げ

健康保険も10%台に、医療負担が深刻

社会保険料の値上げが止まらない。今月より協会健保の値上げが開始された。具体的には神奈川県で9.98%（介護保険なし）で他の都道府県は軒並み10%水準に達した。厚生年金の保険料はすでに16.412%に達しており、合計すると約26%の水準だ。実際には会社と折半で支払う為サラリーマンが負担するのは26%の半分の13%だが、平成29年には15%を超えそう。保険料の値上がりが止まらない背景には高齢化社会による年金受給者増と、医療負担増が重くのしかかっている。サラリーマンの負担も大変だが企業も同様に負担しており収益を圧迫している。そのため給与を上げることが出来ず、保険料負担ばかりが上がっていく手取り減少の悪循環に入っている。

年金は16%台、続く値上げ

平成24年3月分(4月納付分)からの健康保険・厚生年金保険
・健康保険料率：平成24年3月分～適用
 ・厚生年金保険料率：平成24年3月分～適用
 ・介護保険料率：平成24年3月分～適用

標準報酬	月額	日額	健康保険		厚生年金		合計
			月額	日額	月額	日額	
18,000	1,930	73.000	93.000	5,788.4	2,954.2	6,987.4	3,343.7
2,000	2,270	89,000	89,000	6,784.4	3,392.2	8,993.4	4,496.7
3,000	2,600	103,000	103,000	7,784.4	3,892.2	9,993.4	4,996.7
4,000	2,930	117,000	117,000	8,784.4	4,392.2	10,993.4	5,496.7
5,000	3,270	131,000	131,000	9,784.4	4,892.2	11,993.4	5,996.7
6,000	3,600	145,000	145,000	10,784.4	5,392.2	12,993.4	6,496.7
7,000	3,940	159,000	159,000	11,784.4	5,892.2	13,993.4	6,996.7
8,000	4,280	173,000	173,000	12,784.4	6,392.2	14,993.4	7,496.7
9,000	4,620	187,000	187,000	13,784.4	6,892.2	15,993.4	7,996.7
10,000	4,960	201,000	201,000	14,784.4	7,392.2	16,993.4	8,496.7
11,000	5,300	215,000	215,000	15,784.4	7,892.2	17,993.4	8,996.7
12,000	5,640	229,000	229,000	16,784.4	8,392.2	18,993.4	9,496.7
13,000	5,980	243,000	243,000	17,784.4	8,892.2	19,993.4	9,996.7
14,000	6,320	257,000	257,000	18,784.4	9,392.2	20,993.4	10,496.7
15,000	6,660	271,000	271,000	19,784.4	9,892.2	21,993.4	10,996.7
16,000	7,000	285,000	285,000	20,784.4	10,392.2	22,993.4	11,496.7

健康保険、厚生年金などの保険料は%が決まっており、給与に応じて変動する。またこれから始まる復興増税にも注意をしておきたい。住民税、所得税も一時的に増税開始が控えている。家計へのダメージを考え上げ幅は少ないが、これとは別に断続的に上昇を予定している消費税増税も控えている。これからの時代に税金が減税されることは殆ど考えにくく、給与手取りは基本的に減少していくキャッシュフローを想定しておくべきだ。税金を多く払っても手取りを多く残せるよう仕事のスキルアップで収入アップをしていきたい。

低価格マンションの販売好調

5,000万超の物件は動きが鈍い

低価格マンションの売れ行きが好調だ。具体的には2,000万円台〜3,000万円台の新築・中古マンションに動きが見られる。昨今のデフレ経済が大きく影響しているように思え、高額の5,000万円以上の物件は中々売れていない。新規住宅取得の動きは世間の情勢を表すといわれており、このようなマンションの売れ行き価格帯をみて、日本のデフレ経済は中々改善されていないことがよくわかる。高額物件が売れるにはまだまだ時間が掛かりそうだ。

ファイナンシャルプランナーの知恵を習得する学校

身につけよう問題解決能力!

溝の口夜大学
mizo-univ.org



詳しくはwebサイトから mizo-univ.org

溝の口夜大学 検索 Click!

株式会社FPリサーチパートナーズ

暮らしの「困った!」は大丈夫ですか?

ライフプラン 住宅ローン 保険見直し
資産運用投資 相続対策贈与

地元のファイナンシャルプランナー事務所に相談して解決しよう!

詳しくはwebサイトから www.fp-research.jp

FPリサーチ 検索 Click!

☎044-814-3553
info@fp-research.jp

川崎市高津区溝口3-7-21 シャテロ高津1F 高津駅徒歩1分

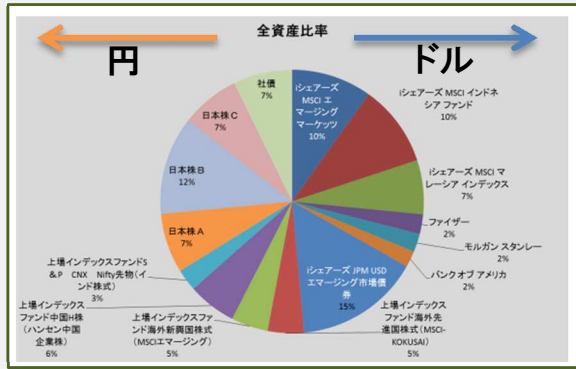
FP三島木のマネーセンスアップ講座 vol.3



人のポートフォリオを覗いてみよう

円資産だけでない所がポイント

今回は私の資産ポートフォリオを紹介したいと思います。他人の投資方法などを見ることにより、自分では気が付かなかった所などがチェック出来るため、私自身も人の投資方法などは参考にしています。私自身は投資資産の殆どがETFで構築されている比較的簡単な投資スタイルをとっています。個別の株式は米国の3社と日本の3社で割合としては約30%程度です。個別の株式は大きな値上がり益も期待できますが、値下がることもあり割合は30%から増えすぎないように抑制しています。変動が激しいリスク資産が30%程度であれば毎日の株価変動をそれほど気にしません。メインの外国株式は殆どが国ごと、地域ごとのETFを利用し、個別株式による投資リスクを抑えています。債券は新興国の国債と社債を利用し、債券でも比較的利回りが高いものを選択して高い配当利回りを確保している形です。一番のポイントは何となくドルと円資産の割合が約50対50という所になります。こうする事により為替による資産の目減りリスクを回避して、基本的には配当利回りだけを期待する事ができます。こういった資産の持ち方は安定的ではありませんが、弱点として高い値上がり期待はしにくい所にあります。ただ値上がり期待が弱いという事は値下がりする確率も低いという事が言えます。大切なのはどれだけのリスク(価格変動)に対応出来るか?ということ自身自身の資産で一度確認してみることです。



エクセルのグラフなどを活用

エクセルの表などで保有資産をまとめておくと、グラフなどで視覚的に確認することができ、どの資産が足りない、どの資産が増えすぎているなどの確認が容易になります。また間接的な効果としては、色々な資産を保有する「楽しみ」も少しは出たりします。個人にはお勧めです。毎日相場を見なくても安心して資産構築が出来る投資戦略を建て、長く続けることがこれからの投資には必要不可欠なものとなります。

N-ASSET

n-asset.com

不動産の「賃貸」「管理」「売買」の事なら溝の口駅すぐの株式会社エヌアセットへ

詳しくはwebサイトから



☎ 044-877-2634



投資用不動産のコンサルティングは

N-ASSET Berry

お電話でのお問い合わせはこちら
TEL 044-382-0200



詳しくはwebサイトから



ベトナム関連の事ならお任せ下さい

N-ASSET

VIETNAM COMPANY LIMITED

日本とベトナムはもっと近くなる
両国の企業と人を支援する「エヌアセットベトナム」

- ベトナムの企業と人を支援する「エヌアセットベトナム」
- ベトナムの企業と人を支援する「エヌアセットベトナム」
- ベトナムの企業と人を支援する「エヌアセットベトナム」

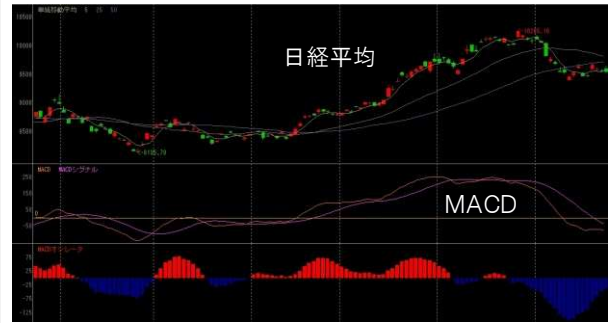
～今月の物件情報～



名称:尻手中古戸建
 価格:3,200万円
 所在:鶴見区尻手2丁目
 土地:115.67㎡
 交通:尻手駅徒歩10分
 築年:平成7年2月
 構造:木造スレート葺2階建
 床面積:87.77㎡
 現況:空室(内見可能)



連載 ■ 5.MACDとは



MACDと日経平均はほぼ同じ動き。赤・青のオシレーターは赤が上昇、青が下落局面を示している。

ン、下に抜けたら売りサインとなります。また色付けされているように、基本的にトレンドは短いスパンでは外せない指標です。ヤフーファイナンスなどでも確認できますので自分の株式なども見て下さい。

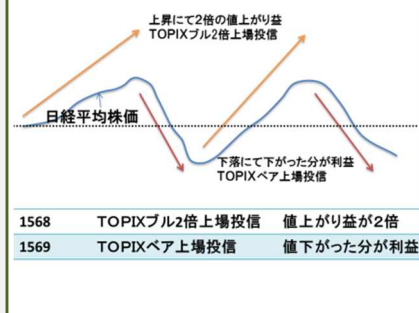
先週はRSIについて記載しましたが、今回も同じような指標です。株価の売買サインには色々な指標があるので組み合わせで考えると良いでしょう。MACD(マックデー)は非常に簡単なシグナルです。株価が上昇トレンドの時は上向きになります。具体的にはゼロを指標としてそれを上に抜けたら買いサイン

日経平均 値下がり で利益のETF

ブル2倍型など投資法が多様に

株式市場での売買と言えは基本的に株価が値上がりをして利益を得るものだが、株価が値下がりして利益になるETFが上場した。信用取引などでは以前から値下がり局面でも利益を出せる空売りやプットオプションなどがあるが、一般的なETFでは初めての商品だ。具体的にはTOPIXに連動しており、100円値下がれば、100円の利益といったってシンプル。欧米では従来から当たり前にあったこのような投資商品だが日本もようやく一般投資家でも手軽に逆ポジションが取れるようになった。代表的な日本株式を保有している場合、日本の株式市場が値上がりしない利益はでない。これらの株と反対の動きをするTOPIXベアを保有しておくことで利益

最新のTOPIX連動ETF



の機会損失を抑制できる。また、値上がりに対して大きく反応するTOPIXブル2倍という商品も上場した。こちらは100円値上がれば200円得するような仕組み。日本株のポートフォリオの中にこのような下落局面、上昇局面で有利に働く投資商品が身近になったのはとても良い事であるが、使い方には十分に注意されたい。現在の運用資産の中に今までと違った商品を検討する際は必ず第三者の客観的な意見をもらいたい。

ゴールデンウィーク海外旅行が活発

9連休 円高が追い風、近場が穴場

今年のゴールデンウィークは海外旅行が活発だ。1日と2日を休みにすれば9連休と大型であり、依然続く円高も海外旅行には好都合だからだ。とは言え海外旅行ともなればそれなりの費用が掛かる。そんな中「近場の日本」が要注目。車や電車などでふらっと行ける近場の日本には穴場スポットが沢山ある。混んでいる海外よりも空いている近場の日本をゴールデンウィークの遊び場として少し検索してみてもどうだろうか。きっと穴場スポットが見つかるはずだ。